

あなたもご一緒に歌いませんか♪

関西合唱団 第86回定期演奏会

ともに歌う団員募集

男性とアルトの方を募集します。

なによりいのちをつなぎたい

懸命にがんばる看護師やヘルパーの想いを

だれもが安心して受けられる医療、介護を

「いのちをつなぐ人たちのうた」をご一緒に歌いませんか。

演奏曲：♪混声合唱のための「いのちをつなぐ人たちのうた」より

(作詞：上田 假奈代 作曲：安広 真理 制作：大阪民主医療機関連合会・関西合唱団)

♪翼をください、Heal The World (マイケル・ジャクソン 日本語で)、その手の中に

演奏：関西合唱団 第86回定期演奏会

日時：2023年6月予定

指揮：山本恵造

ピアノ：石田瑞枝

練習日時：毎週木曜日午後6時45分から9時

現在は、コロナ感染防止のため全員が集まらずにパートごとに分散練習を実施しています。6月はテノールは9日、16日、30日、バスは9日、16日、23日、30日、アルトは9日、16日、30日です。9日、30日は全員練習です。

練習会場：大阪音楽センター会館 (大阪市城東区鳴野西5-17-16)

(JR学研都市線、地下鉄今里線「鳴野」駅下車徒歩8分)

全員練習の会場は、9日は西成区民センター、30日は鶴見区民センターです。

団費：月1,500円 (楽譜、資料代金等を含みます)

当面は分散練習ですが、コロナウイルス感染状況に対応した練習形態や回数の変更にともない、団費の変更の可能性もあります。

なお、「いのちをつなぐ人たちのうた」の楽譜集をお持ちでない方はお買い求めください。(定価1,000円)

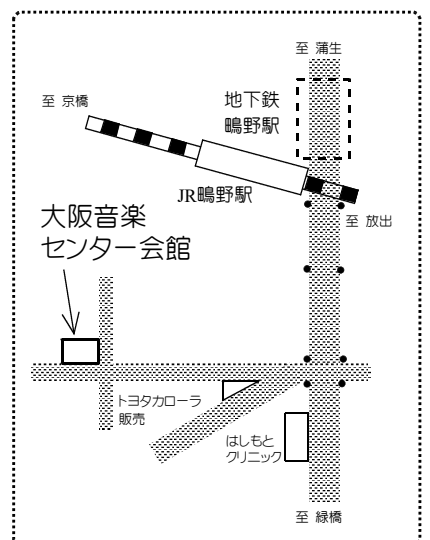
♪初心者の方も大歓迎です。パート練習や音源提供などでサポートします。

お問合せ、
お申込みは

関西合唱団

TEL ; 06-6962-5482 FAX ; 06-6969-1261

E-mail ; kansaigasshoudan@ybb.ne.jp





混声合唱のための「いのちをつなぐ人たちのうた」

この合唱組曲は、2006年に制作、2007年に初演されました。

相次ぐ医療、介護などの社会保障制度改悪は、安心して受けられる医療を国民から遠ざけ、ますます社会的格差と貧困を広げています。また、看護師や医師の不足、医療現場の忙しすぎる実態、介護保険制度の矛盾は行き届いた看護・医療、介護をしたいという関係者の願いを踏みにじています。

そこで、いのちをいつくしみ守るために医療や介護にはたらく人と利用者国民とをつなぎ、いつでもどこでもだれでも安心してかけられる医療や介護の願いを込めて、この合唱組曲はつくられました。大阪民主医療機関連合会のご協力をいただき、看護師、医師、ヘルパー、介護施設利用者、訪問看護利用者などに聞き取りを行い、詩人の上田假奈代さんが作詞、安広真理さんに作曲をしていただきました。

しかし、その後も社会保障制度改悪は続き、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、「助けられる命を助けられない」状況が多発し、日本の医療、介護、公衆衛生の脆弱さが誰の目にもはっきりしました。そして、医療従事者や保健所職員、介護従事者など、いのちをつなぐために懸命に働いている人たちの仕事の尊さを実感しました。いまこそ、この組曲を多くの方々とともに歌い、聞いていただきたいと考えています。

第6章 夫婦のぼちぼち

(前半略)

夫婦ふたりで一人分
わけあって ふたりの生活
ヘルパーさんも 看護師さんも
みんな助けてくれる

いつ誰がどんな病気になるのか
元気なときには考えもしない
病気が教えてくれた人生の大切さ

あの人たちもがんばってるんやな
わたしたちもがんばりたいな
人は強く生きられないから
ゆっくり ぼちぼち ゆっくり ぼちぼち

第7章 いのちのために

誰でも暮らしの営みを持ち
誰でも誰かと関わり生きている

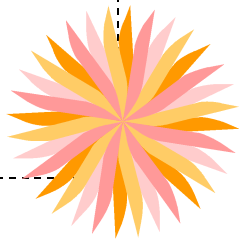
病気や怪我で暮らしが変わるとまどい
はげまし支えていく 医療の現場

貧しくて病院に行けない人が増えている
その中で 失われていくいのち

医療が削られ 介護が削られ
いのちまで削れというのだろうか

このまま 黙っていないで 顔をあげよう
暮らしを守れない制度に 声をあげよう

いま このいのちのために
いま あしたのいのちのために
いま このいのちのために



《 第86回関西合唱団定期演奏会 とともに歌う団員 申込用紙 》

お名前	ふりがな	パート	合唱の経験
		S, A, T, B, 不明	有, 無
ご住所	〒(-)		
TEL		FAX	
Eメール	@	その他	